

# 安芸高田市民モニター 集約結果

## 第3回

「人権・多様性尊重の学習（啓発）事業」の推進について  
調査結果報告書

### 集計に当たっての注意

- 調査結果の数値は、原則として回答率（％）で表わし、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記しています。これに伴い、「単数回答」の合計値が100.0%前後を増減する場合があります。  
また、一人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい設問「複数回答」では、回答率は100.0%を上回る場合もあります。
- 本文やグラフ、数表上の選択肢標記は、場合によっては語句を簡略化します。
- 文中の【n】「有効回答者数」、【SA】「単数回答」、【MA】複数回答を表しています。

### 調査実施期間

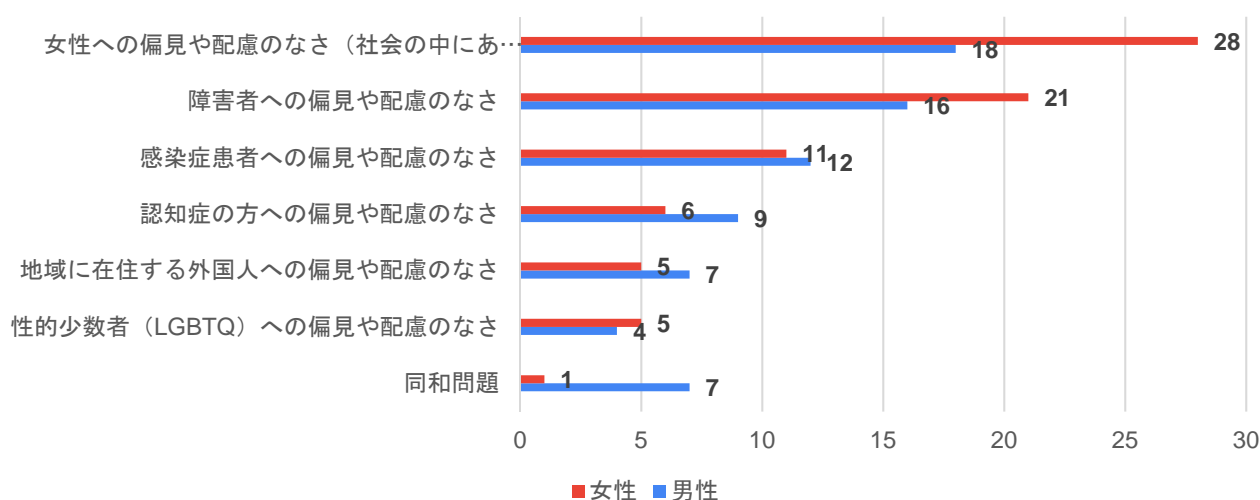
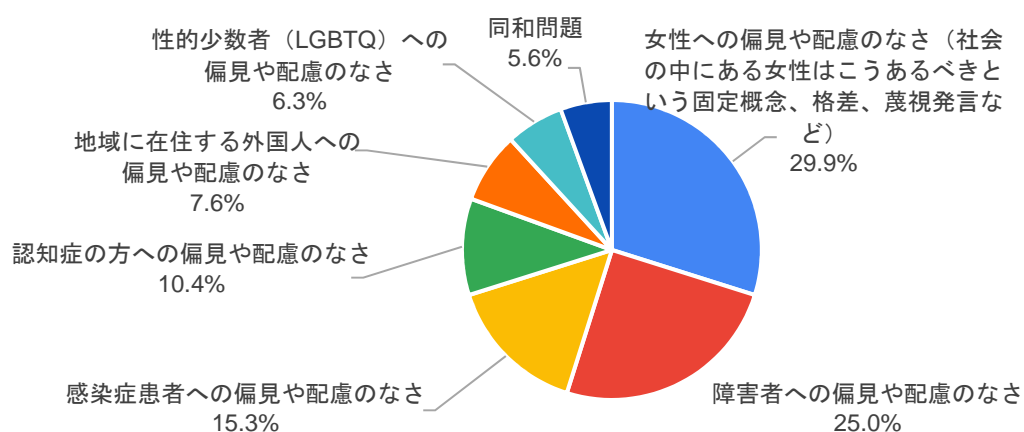
令和3年8月6日（金） ～ 令和3年8月16日（月）

モニター回答者数【n】

性別	全体数	回答者数	割合
男性	66	41	62.1%
女性	65	43	66.2%
合計	131	84	64.1%

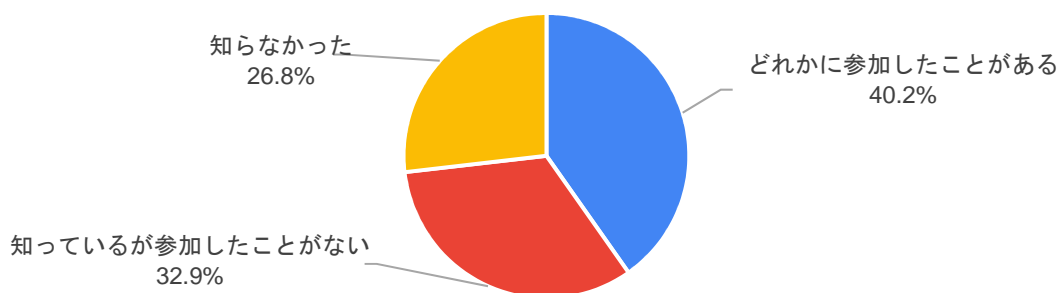
## 【問1】 現在、あなたにとって関心の高い（解決すべきと思う）人権（差別）問題は？【MA】

多様な人権（差別）問題が存在する中、関心の高い課題については、「女性への偏見や配慮のなさ（社会の中にある女性はこうあるべきという固定概念、格差、蔑視発言など）」が3割と最も多い。項目によって男女の関心に大きく開きがある。

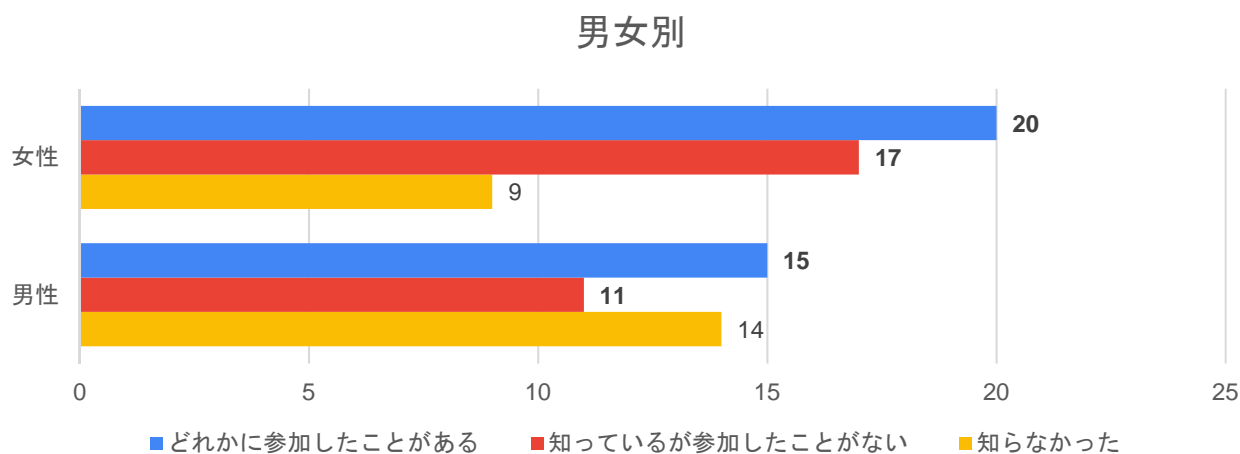
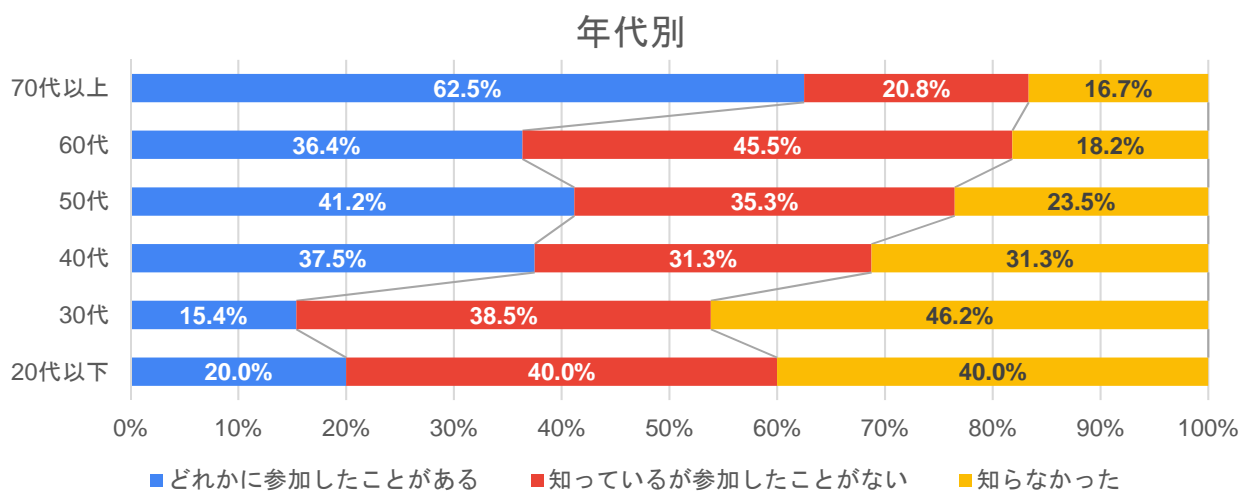


## 【問2】市主催人権啓発事業の認知度と参加の有無 【SA】

市が主催する人権啓発事業（※）の認知度とこれまでの参加の有無については、「どれかに参加したことがある」が4割と一番多く、「知っているが参加したことがない」「知らなかった」はいずれも約3割となっている。年代別では「知っているが参加したことがない」割合が各年代で一定のウェイトを占めている。特に30代以下は認知度が低く、効果的なPR・周知を図る必要がある。

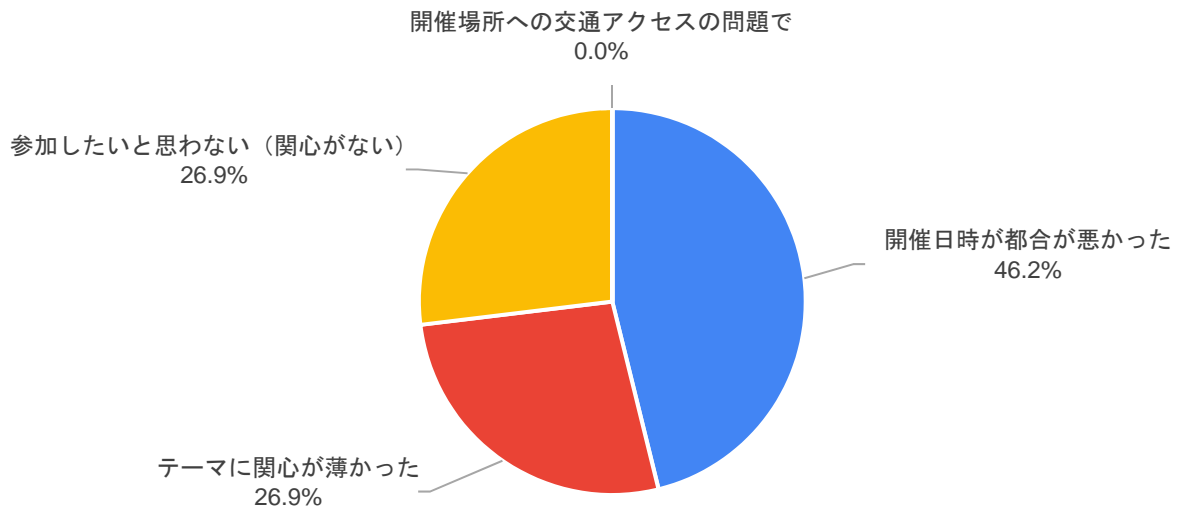


※主な人権啓発事業は、「講演会」「映画上映会」「人権連続講座」「福祉と人権のまちづくり講座」「世界人権宣言実行委員会共催の人権イベント」「心耕祭」「ハートフルフェスタ」など

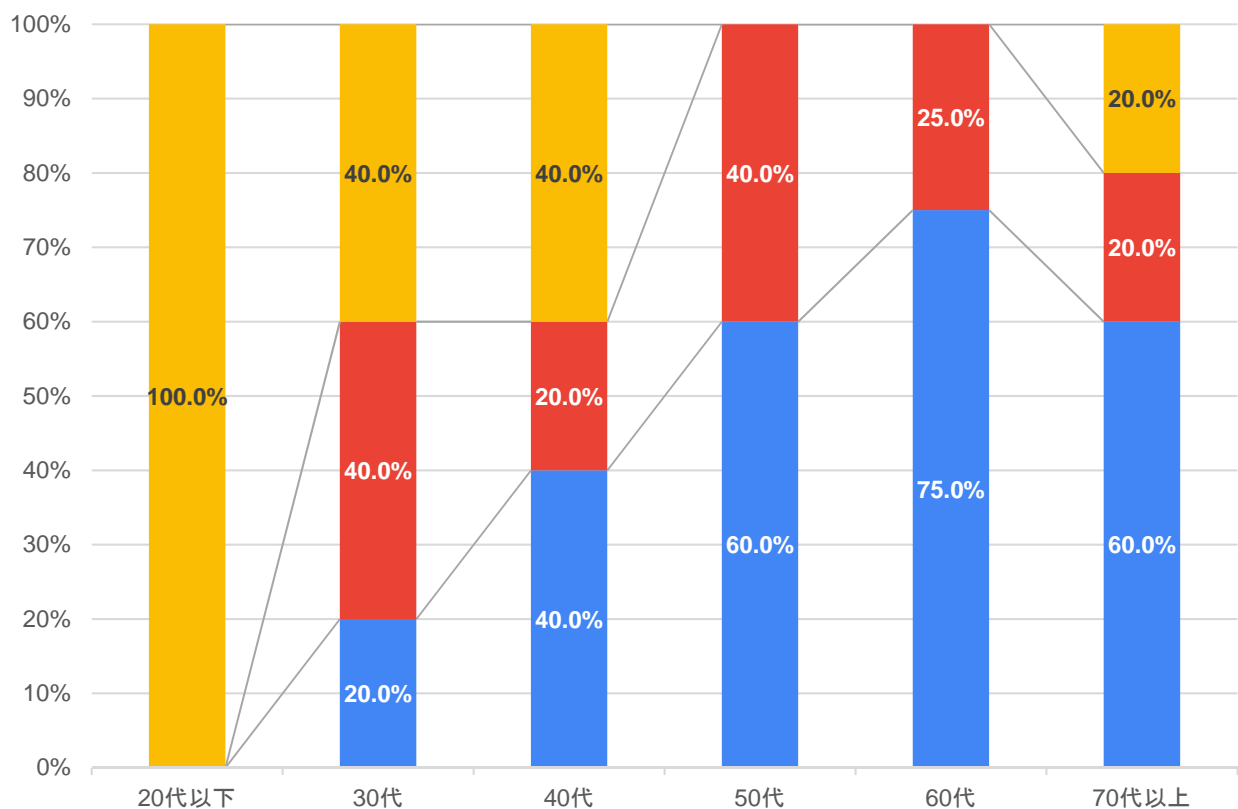


### 【問3】参加できなかった主な理由は？【SA】

【問2】で「知っているが参加したことがない」と回答した方の参加できなかった主な理由については、「開催日時が都合が悪かった」が5割弱と一番多く、「テーマに関心が薄かった」「参加したいと思わない（関心がない）」が3割弱となっている。40歳代以下に「参加したいと思わない（関心がない）」が集中している。

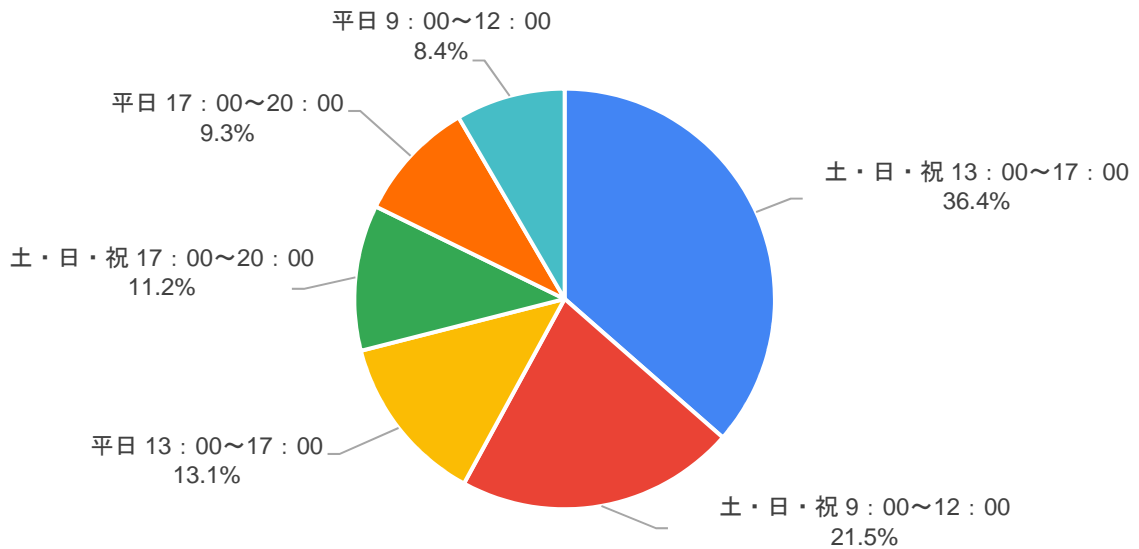


#### 年代別

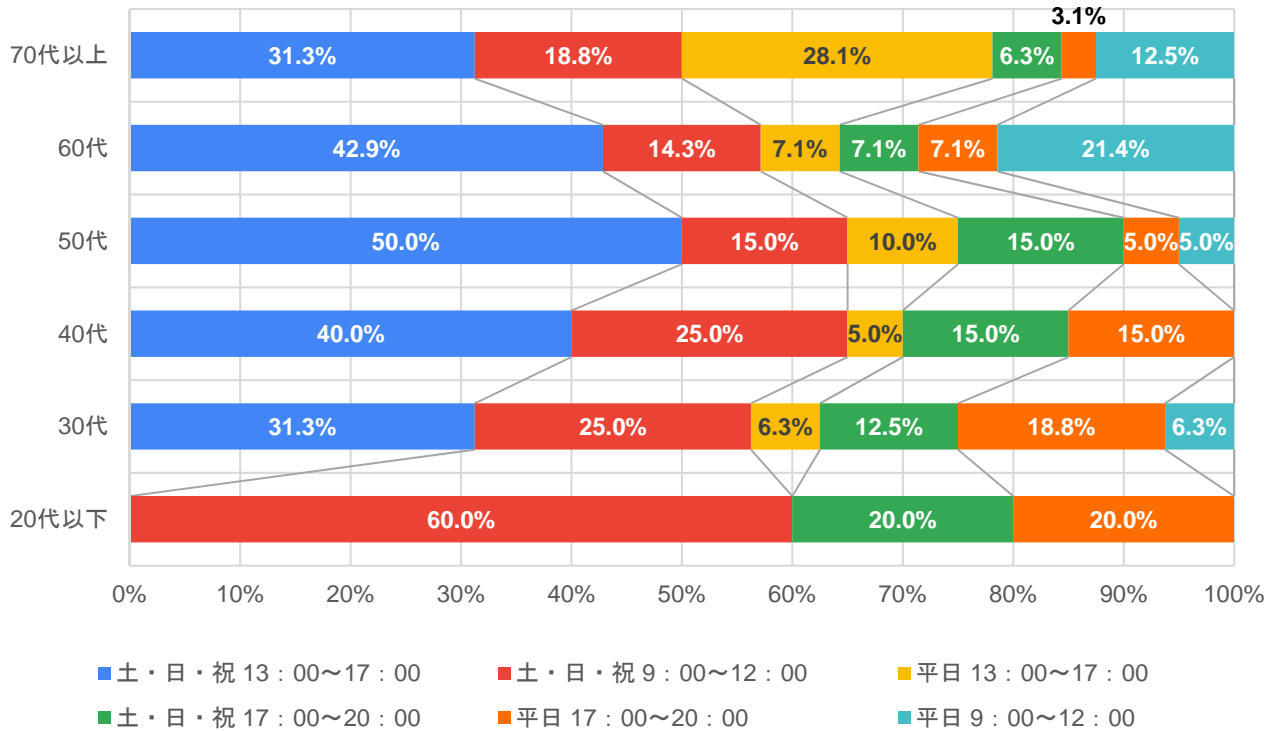


## 【問4】 人権啓発事業の最も参加しやすい曜日・時間帯 【MA】

土・日・祝日の9時から17時までが約6割を占めており、平日での参加は難しい方が多いと推察される。

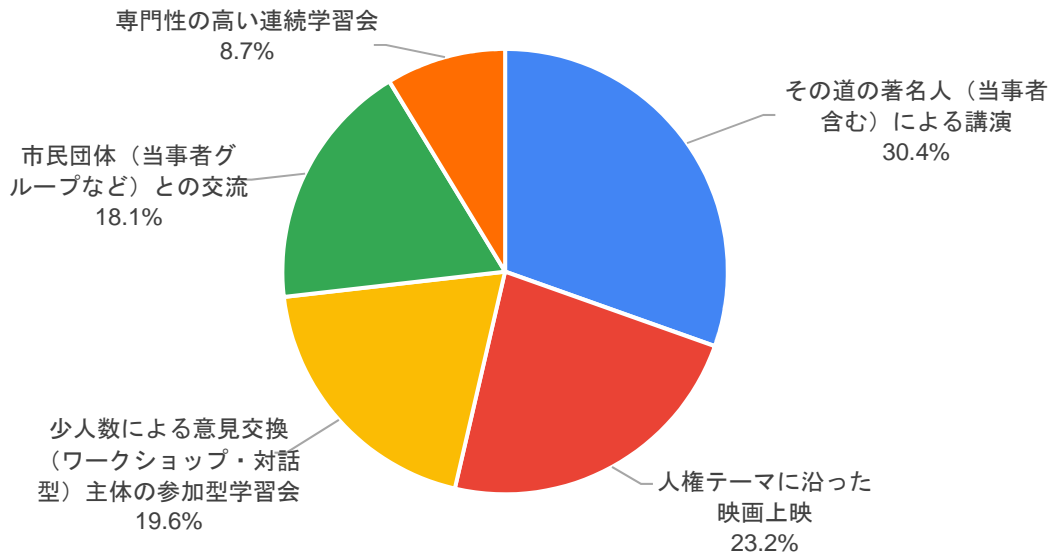


### 年代別

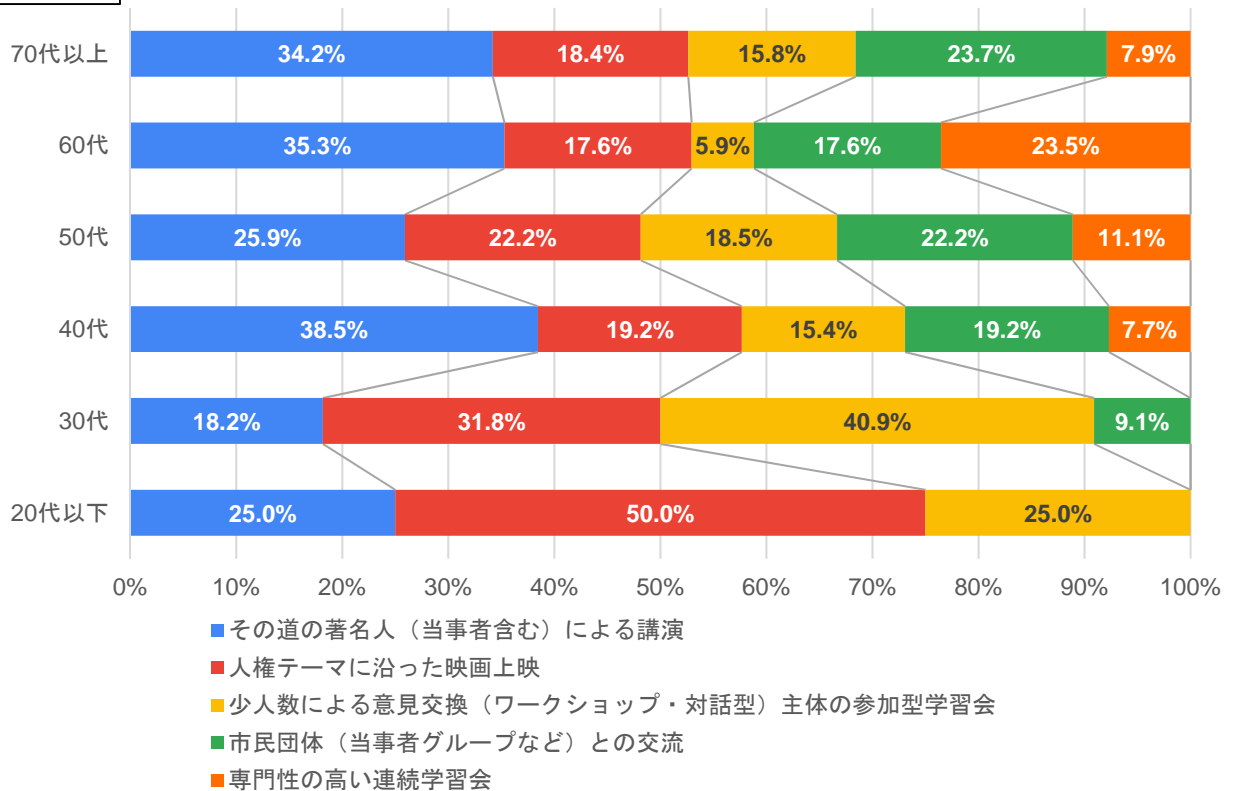


## 【問5】 どのような形の学習に関心があるか【MA】

人権や多様性尊重の学習については、全体的に大きな差はないが「その道の著名人（当事者含む）による講演」が3割と最も多く関心を示している。20代以下は映画上映、30代はワークショップ・対話型の参加型学習に関心が高い。

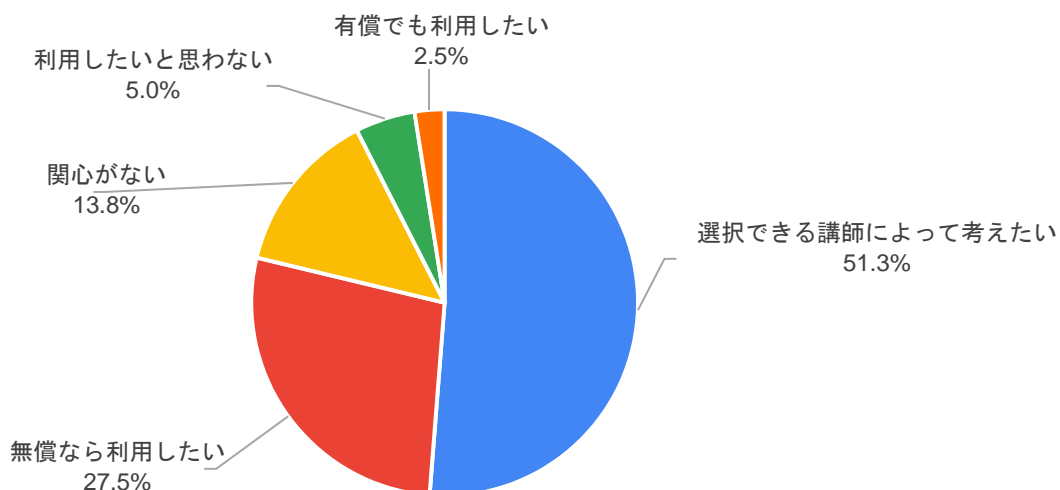


### 年代別

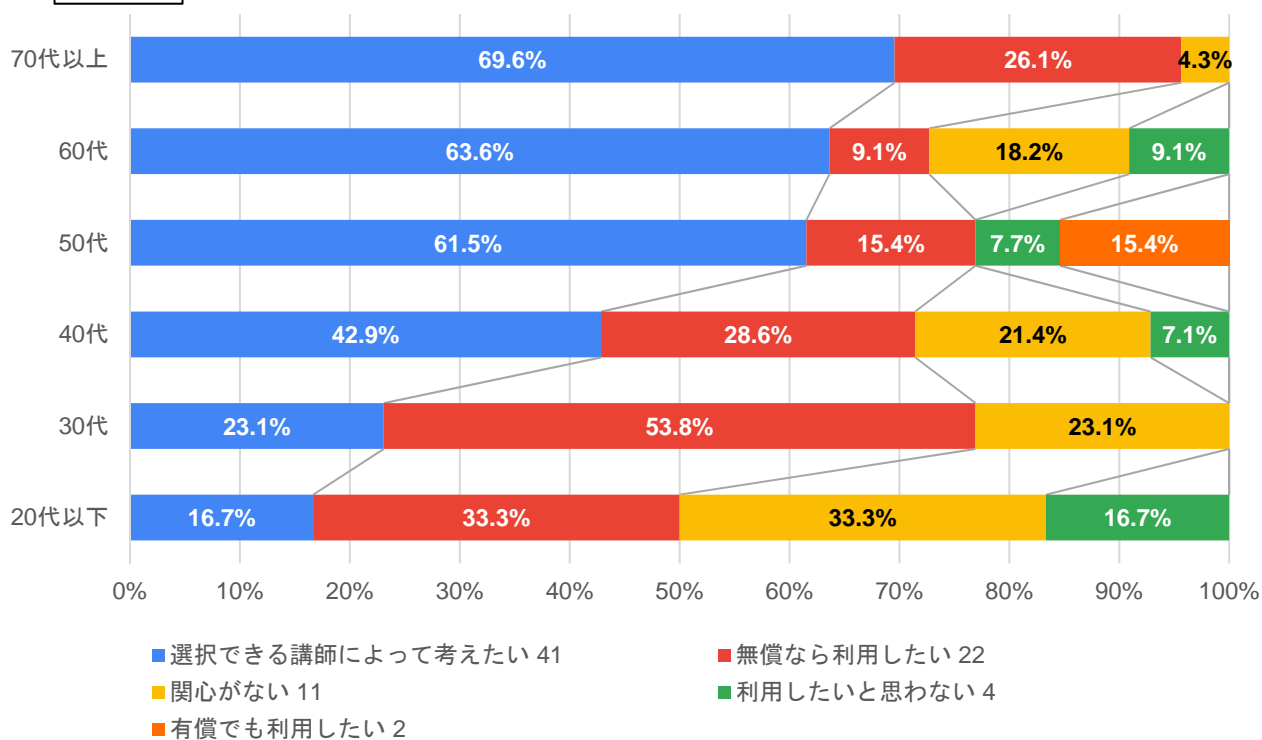


## 【問6】 地域への講師派遣制度があった場合利用するか 【SA】

市民主体の、人権や多様性尊重の学習会へ講師派遣制度があった場合の利用の有無については、「選択できる講師によって考えたい」が約5割、「無償なら利用したい」が約3割で計8割が利用したい意向を持っている。



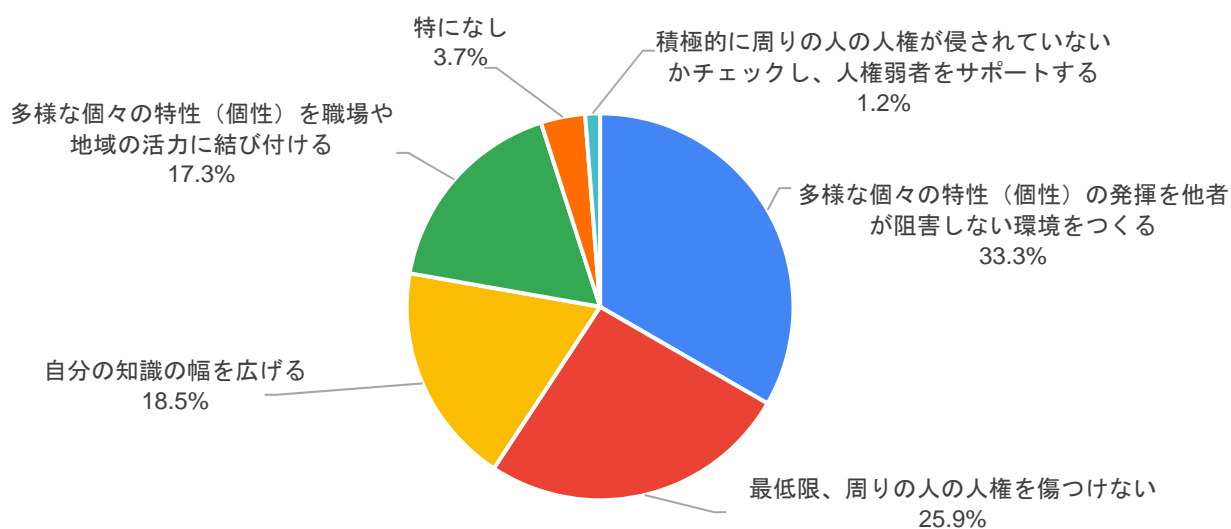
### 年代別



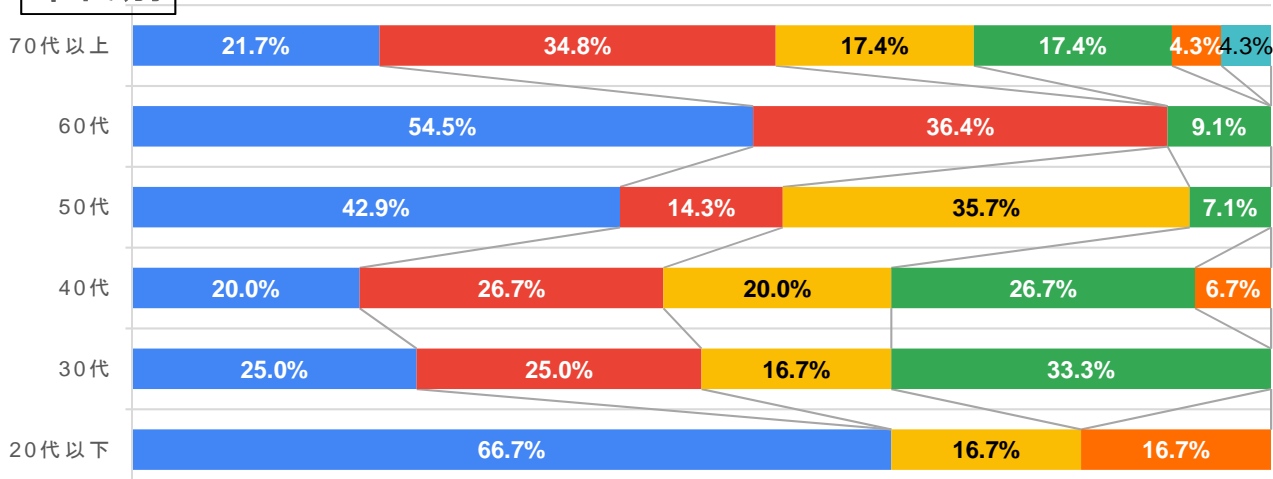
## 【問7】 何のために人権、多様性尊重を学習したいか

【SA】

学習する場合の関心のある内容については、「多様な個々の特性（個性）の発揮を他者が阻害しない環境を作る」「最低限、周りの人の人権を傷つけない」が約3割ずつと、全体の約6割を占めている。「人権」と「多様性」は意味合いは同じだが、若年層には「多様性」という言葉の方が届きやすいと感じる。



### 年代別

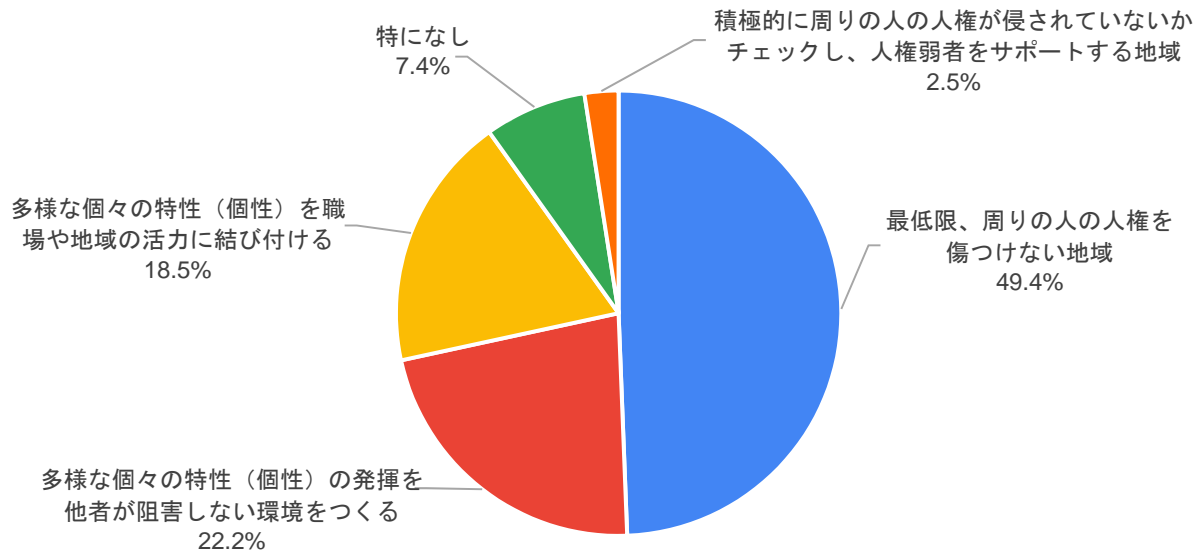


- 多様な個々の特性（個性）の発揮を他者が阻害しない環境をつくる
- 最低限、周りの人の人権を傷つけない
- 自分の知識の幅を広げる
- 多様な個々の特性（個性）を職場や地域の活気に結び付ける
- 特になし

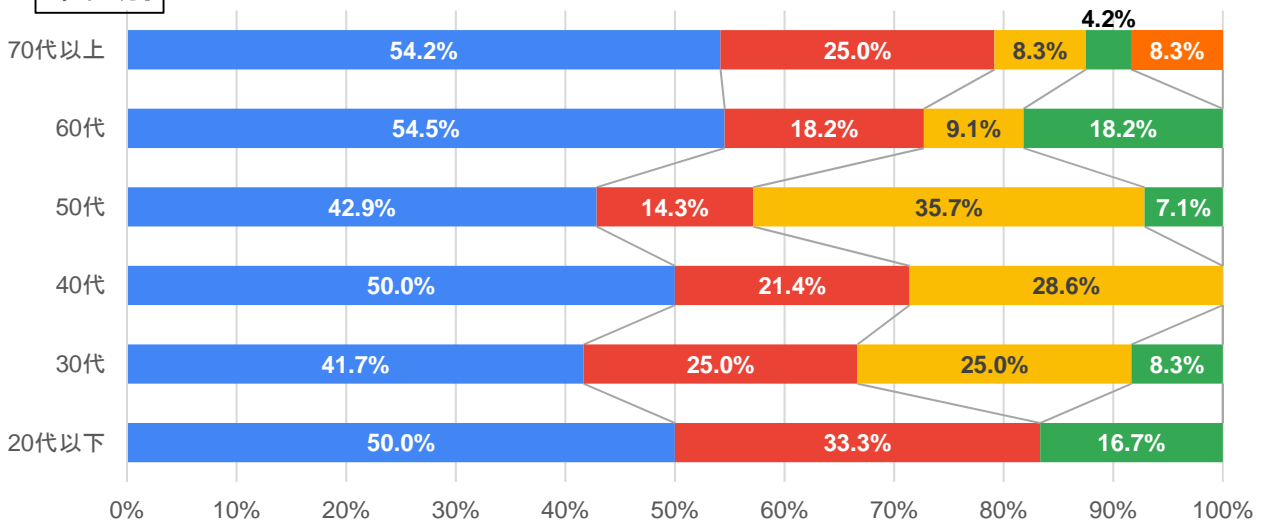


## 【問 8】 学習を通して実現できる形は？ 【SA】

市民が学習することで、安芸高田市の人権・多様性尊重がこういった水準まで実現できるかについては、「最低限、周りの人の人権を傷つけない地域」が約5割と最も多く、「多様な個々の特性（個性）の発揮を他者が阻害しない環境を作る」「多様な個々の特性（個性）を職場や地域の活力に結び付ける」が約2割ずつとなっている。個々の違いを活かして活力に結び付けるダイバーシティ的な考え方は、まだ浸透していないと考えられる。



### 年代別



- 最低限、周りの人の人権を傷つけない地域 40
- 多様な個々の特性（個性）の発揮を他者が阻害しない環境をつくる 18
- 多様な個々の特性（個性）を職場や地域の活力に結び付ける 15
- 特になし 6
- 積極的に周りの人の人権が侵されていないかチェックし、人権弱者をサポートする地域 2

## モニター制度及び今回調査にお寄せいただいたご意見など（公表用）

年間を通したテーマ設定をされたら良いのでは。

モニターの意見や、結果をどのような形で施策に反映させていくのか、又は反映させた実績があるのか。

回答欄に複合的な回答、自由記載欄があった方がよい。限られた選択肢では自分の思いと違う部分がある。

アンケート依頼があったことをLINEなどSNSで通知してほしい。

人権の問題を加害者対被害者の構図から語られがちな論理の方向性に常々疑問を感じている。人は常に加害者であり、同時に被害者として存在するものだという視点が大事だと考える。

質問に関する近年の事業実績や簡易的な内容説明などの一覧があると良い。そうすることによって、市政への興味を高めたり、情報共有することができ、今後の幅が広がると思う。